

## ごあいさつ

西地区更生保護女性会 会長 平口 さとみ

平素より西地区更生保護女性会の活動に温かいご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私は昨年4月、思いがけず会長の大役を仰せつかりました。長い間、私達を導いてくださった田中武子前会長の地域社会への貢献は真に大きく、心から敬意と感謝の意を表します。私は諸先輩や会員の皆様に日々助けていただきながら、今日までおぼつかない歩みを続けてまいりました。本当にありがとうございます。

今後は、更女の愛の心、ほっとけない精神を胸に、更生保護に寄与するという目的を軸に据えて、有意義かつ楽しい活動を皆様と共に進めていきたいと思えます。

それには社会の変化に対応する新しい試みも必要でしょうし、今まで以上に保護司会、BBS会をはじめ地域の諸団体との連携も大切になると思われます。「誰ひとり取り残さない明るい社会」をつくるため、皆様のなお一層のお力添えを心よりお願い申し上げます。

## 令和4年度(第43回)総会

総会を4月28日(木)、広島・西区更生保護サポートセンターで広島保護観察所山田所長、西区役所戸田区長をはじめとするご来賓のご臨席をいただき、出席会員51名、委任状159名で開催しました。



令和3年度活動報告・決算報告、令和4年度活動計画・予算、役員改選などが承認されました。

[令和4年4月1日会員数 223人]

総会終了後、広島保護観察所山田所長から



「更女活動について」と題して、非接触型の活動などについてお話を伺いました。

## 更生保護啓発パネル展 ～更生保護の心を広めます～

日本更生保護女性連盟から「令和3年度地域との連携・協働推進地区」に指定されスタートした「子育て支援活動でパネルを活用した更生保護の広報啓発事業」はコロナ禍で引き続き自粛、中止となりましたが、保護司会、西区内公民館、西地域交流センター（いきいきプラザ）との連携、協働により、公民館3館と西地域交流センターで「更生保護啓発パネル展」を実施しました。

パネル展示を見て、寄せていただいた感想の一部を紹介します。

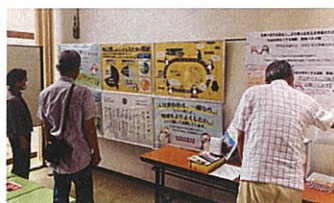
- 更生保護活動などを「知る」ことができた。このような活動があると理解した上で、この情報を「広める」ことなど、自分たちができることはないか探しながら日々を過ごそうと思う。

- 更生保護について周知される機会が増えるとうれしかった。
- なかなか成果がでないかもわからないが、一步一步進んでいく社会でありたいですね。
- 地域の力が大切だと思う。
- 更生保護、聞き慣れない言葉でしたが、わかりやすい展示でした。
- 「子育て十章」（4ページに掲載）は大変参考になる。

引き続き、来館者等への声掛けと更生保護女性会活動について会員自らの言葉で伝えるよう努め、内容もブラッシュアップしながら実施していきたいと考えています。



三篠公民館(5月15日～28日)



鈴が峰公民館(6月9日～22日)



観音公民館(11月24日～12月8日)



西地域交流センター(2月4日～19日)

## ミニ集会 ～地域において～

ミニ集会を参加人数を抑えるなど感染対策に意を用いながら、3年ぶりに4つの分会で実施しました。

子ども達の様子や学校での取組などについて、校長先生や地域の方からお話を伺い、私達からは更生保護の活動を説明するなど、理解を深める機会となりました。

参加した会員から、「地域に貢献していきたい。」「地域での見守りが大切で、それが安全安心につながる。」との感想がありました。



## 更生保護施設「ウイズ広島」給食交流会

令和5年1月19日(木)、平口会長と第2分会会員5名でウイズ広島へ給食づくりに行きました。「今日の献立を皆さんがとても楽しみにしている。」とお聞きし、私達もやり甲斐を感じました。食材選びから調理まで和気あいあい、手際よく献立のステーキ、ポトフ、サラダ、デザートが出来上がりました。



コロナ禍のため、利用者の方との食事をしながらの交流はできませんでしたが、メッセージを食卓に添えました。翌日、皆さんが喜ばれていたとお礼の言葉をいただきました。



## 広島少年院成人式

令和5年1月12日(木)、広島少年院体育館で開催された成人式に参列しました。

5名の新成人のうち4名が出席。大熊院長の式辞で「地元で迎えたはずの20歳の節目をこの場所で迎えた悔しさをバネに、卒院後の人生をしっかりと歩んでほしい。」との言葉が印象的でした。西地区更生保護女性会からは、記念品として袱紗を贈呈しました。

新成人は「今まで自分のことしか考えず、勝手な行動をして周りに迷惑をかけた。卒院したらここで学んだことを忘れず社会に貢献する人間になりたい。」など、反省と決意をしっかりと発表しました。

このようにして地域に戻ってくる人達を温かく迎え、支える更生保護女性会の存在意義を改めて胸に刻みました。

## 会員研修

11月10日(木)、広島・西区更生保護サポートセンターで会員49名が参加し、更生保護法人ウイズ広島 山田理事長から「孤独に寄り添う最前線 更生保護施設ウイズ広島」と題してお話を伺いました。



ウイズ広島は財団法人博光寮として立ち上げ、その後、施設を新築し、令和2年には新しく女性棟も有する施設となりました。

利用者は罪を犯し、刑期を終えた人達で、社会に出て行きにくく、人と交わることが困難な人達が多くいます。そうした人達を孤立させないために、ウイズ広島では①カウンセリングでしっかり話を聴く、②社会に適応するための練習や支援、③カフェでの交流会で継続して支援するなど様々な活動を行っています。

こうした活動は「愛のたより」募金の寄附、ロス食品提供など、多くの方々の援助の上で成り立っています。また、皆さんの、いろいろな生き方を認め、思いやりのある優しい声掛けも大変重要です。そうして孤立させない社会となることを願っていますとお話を結ばれました。



参加者からは、「自分たちの活動がもっと役立つよう何ができるのか改めて考える良い機会になった。」などの感想がありました。

## 会員の集い

令和5年1月23日(月)、エルセルモ広島で「会員の集い」を3年ぶりに開催しました。西区役所戸田区長、西区コミュニティ交流協議会打越会長をはじめ多くの来賓の方々のご出席をいただき、会員62名が参加しました。

来賓の方から励ましのお言葉をいただき、清興では会員お二人により「金扇の舞」を踊っていただきました。コーラス部「それいゆ」、保護司の方々による男声合唱、会員によるフラダンス、お楽しみくじと、楽しいひとときとなりました。



新しい年のスタートにあたって、会員の親睦を図り、活動への励みとなる会になりました。



## 第72回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

再犯を防止することの大切さや更生保護活動について周知し、理解を深めていただくため、運動強調月間の7月を中心に、メッセージ伝達などの街頭啓発セレモニーをはじめ、標語パネルの掲示、広島市広報紙「市民と市政」西区版への記事掲載などを行いました。

### 街頭啓発セレモニー・メッセージ伝達



運動を推進するため、7月3日(日)アルパーク東棟時計の広場で、街頭啓発セレモニーを3年ぶりに実施し、広島保護観察所山田所長から西区推進委員長の戸田西区長へ内閣総理大臣メッセージが伝達されました。

メッセージには、「犯罪や非行の背景には、社会的孤立など社会における“生きづらさ”が存在していることが少なくない。安全に安心して暮らしていきたいという誰もが抱く願いは、“生きづらさ”に寄り添う草の根の活動、人と人が支え合うコミュニティを通じて実現される。“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人の誰もが社会に受け入れられるよう、それぞれの立場で創意工夫を凝らしながら、包摂的な社会を実現していきましょう。」とありました。

アトラクションでは、広島市立南観音小学校合唱クラブ、コーラス部「それいゆ」の合唱があり、最後に参加者全員で「ひまわりの譜」を歌い、犯罪のない明るい地域社会づくりへ心をついにしました。



### コーラス部「それいゆ」＝一緒に歌いましょう

会員増強と親睦を図るために、昭和60年16名で結成された「それいゆ」。フランス語で“ひまわり”“太陽”という意味があります。

現在は木村美子先生のもと、20余名の会員が楽しく活動しています。

本年度は、“社会を明るくする運動”街頭啓発セレモニーや会員の集い、叙勲を受けられた方のお祝いの会などで発表を行いました。また、歌が大好きな保護司の方々をお招きして、クリスマス会を開催しました。



気軽に見学してみませんか？ お待ちしています！！  
練習日 第1・3木曜日 午後1時30分～3時30分  
場所 広島・西区更生保護サポートセンター

### 「愛のたより」募金贈呈式＝皆様のご厚志にお礼を申し上げます＝



11月7日(月)、広島保護観察所で広島市8地区での募金を5団体(4ページ「会計報告」に掲載)へ贈呈しました。

贈呈式では、各団体から募金がどのように使われるかお話がありました。ウィズ広島では利用者が支払えない食費や移動費用等の補填に、呉清明園では作業療法の認知機能回復プログラムに、広島県更生保護協会では広報啓発活動に、広島県薬物乱用防止指導員協議会ではヤングボランティアの育成や薬物標本作成に充てたりするそうです。

贈呈式終了後、午後からの会員研修では広島保護観察所多田野観察官から、ウィズ広島のような更生保護施設が建設される際に苦勞される「近隣の方々との問題」で更生保護女性会が果たす役割についてお話を伺いました。こうした施設は地域からなかなか理解されにくい面があります。更生保護女性会会員が日常的に施設に出入りしたりすることで施設が地域に理解される、そうした私達の役割について知ることができました。

### 作文・標語コンテスト表彰式・発表会

令和5年2月18日(土)、広島・西区更生保護サポートセンターで西区推進委員長の戸田西区長からの表彰、児童生徒の皆さんによる優秀15作品の朗読発表が3年ぶりに行われました。

家庭や学校生活で体験したこと、自分で調べたこと、その中で考え、感じたことを力強く、自分の言葉で書かれた作品でした。次世代を担う皆さんの姿に更生保護に携わる者として力をもらいました。

小・中学校の児童生徒の皆さんから作文1,697作



品、標語760作品の応募がありました。ご指導いただいた先生方、保護者の皆様に感謝申し上げます。

### ごみゼロ・クリーンキャンペーン

6月5日(日)、平和記念公園の清掃活動に会員10名で参加しました。この活動は「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という自覚と認識を高め、定着を図るとともに、市民等による環境美化への自主的、直接的な取組を推進するため、各種団体等に



参加を呼びかけて行われています。広島市地区更生保護女性会連絡協議会(市内8地区の更生保護女性会会長で構成)では8地区が順番に参加しています。

# 被表彰者 =受賞おめでとうございませう=

中国地方更生保護委員会委員長感謝状

香川久美子(1) 木本 敦子(1) 田中 武子(2)  
 津江本美智恵(2) 藤島 富子(3)

中国地方更生保護女性連盟会長表彰

平田美智子(4) 松尾 恵子(4) 矢村美智子(5)

広島保護観察所長感謝状

谷本 有紀(1) 大田 松美(2) 守田 園美(3)  
 松下 良子(4) 河原 和代(5) 田中 文(6)  
 本西さゆり(6)



西地区更生保護功労者顕彰式  
 (12月6日(火)広島・西区更生保護サポートセンター)

(注) ( )は所属分会

## 会計報告

### 令和4年度収支決算書

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

〔一般会計〕

(収入の部)		(単位 円)	(支出の部)		(単位 円)
項 目	令和4年度決算額		項 目	令和4年度決算額	
会 費	448,000		事務費	166,859	
会 費	448,000		会 議 費	64,194	
研修参加費	0		事務諸費	102,665	
研 修 参 加 費	0		分 担 金	209,400	
助 成 金	6,000		県 更 女	182,400	
助 成 金	6,000		市 更 女	5,000	
寄 付 金	10,000		ウ ィ ズ 広 島	12,000	
寄 付 金	10,000		コミュニティ交流協議会	5,000	
事業収入	137,251		県就労支援事業者機構	5,000	
広 報 物 資	111,001		事 業 費	232,981	
社 明 パ ネ ル	26,250		研 修 費	25,619	
雑 収 入	41		行 事 費	104,962	
資 産 収 入	41		社 明 活 動 費	32,000	
雑 収 入	0		機 関 誌 発 行 費	70,400	
繰 入 金	71,000		慶 弔 費	20,990	
繰 入 金	71,000		慶 弔 費	20,990	
繰 越 金	713,150		関 係 機 関 会 合 費	8,750	
前 年 度 繰 越 金	713,150		日更女の集い参加費	0	
合 計	1,385,442		各 種 会 合 参 加 費	8,750	
			積 立 金	200,000	
			基 金 積 立 金	200,000	
			予 備 費	0	
			支 出 計	838,980	
収 入 総 額	1,385,442		次 年 度 繰 越 金	546,462	
支 出 総 額	838,980		合 計	1,385,442	
差 引 金 額	546,462				

〔愛のたより〕

(収入の部)		(単位 円)
項 目	令和4年度決算額	
愛 の た よ り	578,020	
共 催 金	0	
雑 収 入	1	
合 計	578,021	
(支出の部)		(単位 円)
項 目	令和4年度決算額	
ウ ィ ズ 広 島	210,000	
呉 清 明 園	20,000	
広島県更生保護協会	10,000	
広島県薬物乱用防止指導員 広島市地区協議会	10,000	
広島市地区 BBS 会	10,000	
社 明 広 報 活 動 費	177,300	
犯 罪 予 防 活 動 費	26,286	
事 務 雑 費	5,578	
社 明 行 事 積 立 金	108,857	
合 計	578,021	
収 入 総 額	578,021	
支 出 総 額	578,021	
差 引 金 額	0	

(注) 令和5年度総会で承認された後、確定します。

## 「子育て十章」

防ごう非行  
 助けよう立ち直り



西 地 区 保 護 司 会  
 西 地 区 更 生 保 護 女 性 会

- 一 家庭円満は 心の安定した子どもが育ちます
- 二 心の安定はバランスのよい成長をもたらします
- 三 子どもへの愛情は、態度で示すことは愛情を言葉や表情、態度で直で示すことは理解力のある子に育てます
- 四 子どもは、親を見て育ちます
- 五 親は子どもの立場で、ものを考えよう
- 六 聞き上手は子どもの考えを育てます
- 七 自分役割を、自覚させよう
- 八 小さな体験の積み重ねから、社会を知り責任感が芽はえます
- 九 小さい時から、忍耐力を育てよう
- 十 子どもの言いなりになることを避け、がまんさせることから、強い意志が育ちます
- 七 口の出しすぎは、子どもの心をゆがめます
- 八 口の出しすぎや無理な要求は、豊かな成長の芽を摘み取ります
- 九 自分の考えを、持たせよう
- 十 自分考えで行動させることは、自立心を育てます
- 九 子ども個性や他との違いを認めよう
- 十 子ども存在を認めることは、子どもの生きがいを育てます
- 九 その子どもにも、我が子の愛を差しのべよう
- 十 大人の一声が、非行や交通事故から子どもを守ります

## 役員

=会員の皆様、ご協力ありがとうございました=

- |     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 顧問  | 織建 末子 | 理事 | 山田真知子 |
| 参与  | 山田 陽子 |    | 山下 雅子 |
| 会長  | 平口さとみ |    | 菅井 篤子 |
| 副会長 | 藤田 典子 |    | 守田 園美 |
|     | 光田登喜子 |    | 松尾千代子 |
|     | 東 真由美 |    | 加藤 順子 |
| 書記  | 金垣 麗華 |    | 菊川 光子 |
| 会計  | 久村由美子 |    | 豊島 祐子 |
| 監事  | 山木 路子 |    | 安光ふみ江 |
|     | 熊本ヒロ子 |    | 鍛冶山好恵 |

発行 西地区更生保護女性会 電話 (082) 278-3136  
 FAX (082) 278-3181